

神奈川県立総合教育センター 令和8年度 かながわティーチャースデー

■令和8年8月20日(木) 9:00～受付開始

会場	9:30 - 9:40	9:45 - 11:25
講堂	開会式	<記念講演> 「子ども主体の授業とは？」 ～明日から一歩目を踏み出すヒント～ 独立行政法人教職員支援機構審議役 島谷 千春 氏

研究発表・実践報告 ※発表テーマ等は今後変更する場合があります。発表の詳細については、総合教育センターウェブサイトより御確認ください。

会場	研究発表・実践報告① 13:15 - 14:35	研究発表・実践報告② 15:10 - 16:30
分科会A	「【道徳】児童生徒が深く考え振り返ることができる授業実践の研究」★ 座間市立栗原小学校 教諭 深澤 隆史 座間市立座間小学校 教諭 与那覇 雅康 座間市立座間中学校 教諭 梅原 健人 座間市立西中学校 教諭 石井 大地	「心理的安全性を高める学級経営による学校適応の実証的研究～学級目標を手がかりとした『安心して挑戦できる風土』づくりの探究～」★ 横須賀市立衣笠中学校 教諭 横手 謙
分科会B	「教育課題調査研究 第13回『学習意識調査』報告―藤沢市立中学校3年生・60年間の比較研究―」★ 藤沢市立八松小学校 教諭 泉 翔 太 藤沢市立保野小学校 教諭 上 村 歩 藤沢市立新林小学校 教諭 坂倉 美和 藤沢市立湘洋中学校 教諭 村井 裕也 藤沢市立片瀬中学校 教諭 二宮 真之 「教科・領域等研究 社会科 子どもが質のよい問いを追究する社会科の授業づくり」★ 藤沢市立鵜野小学校 教諭 丸山 大輝 藤沢市立富士見台小学校 教諭 甘粕 太志 藤沢市立滝の沢小学校 教諭 服部 紗季 藤沢市立善行中学校 教諭 木村 健太郎 藤沢市立高倉中学校 教諭 田畑 颯太	「教科・領域等研究 算数・数学科 学び方の価値観の変容をめざす算数・数学の授業～直観的な考えをもとに検討・修正する体験を通して～」★ 藤沢市立新林小学校 教諭 石井 裕貴 藤沢市立鵜野小学校 教諭 鈴木 育未 藤沢市立大清水小学校 教諭 工藤 琢人 藤沢市立善行中学校 教諭 小池 一樹 「教科・領域等研究 理科 主体性を発揮できる授業改善～自己肯定感を高める OPPA の活用～」★ 藤沢市立御所見小学校 教諭 岩政 修司 藤沢市立善行小学校 教諭 永田 理佳 藤沢市立中里小学校 教諭 宮生 彩子 藤沢市立御所見中学校 教諭 成川 玲也
分科会C	「生徒が自らの学習の状況を把握することで学習意欲の向上を目指す授業デザイン―高等学校数学における振り返り活動を軸に構成した授業を通して―」 令和7年度 総合教育センター長期研究員 県立大船高等学校 教諭 中谷 公彦 「教職員の積極的な対話による相談しやすい関係づくりに向けて―1人1台端末を活用した絵文字による健康観察を通して―」 令和7年度 総合教育センター長期研究員 横須賀市立追浜中学校 養護教諭 柏原 絵里子	「『西高力』でつなぐ！『総合的な探究の時間』と『教科学習』―『理数探究基礎』への挑戦― 県立藤沢西高等学校 総括教諭 近藤 誠
分科会D	「定時制高等学校におけるプロアクティブな生徒指導の充実を目指して―HR 経営に関する職員研修とグループアプローチの実践―」 令和7年度 横浜国立大学教職大学院生 県立相模向陽館高校 総括教諭 今井 健太郎	「特別支援学校における授業づくりを支援するための教師の柔軟な学習環境デザイン」 令和6年度 横浜国立大学教職大学院生 県立中原支援学校 教諭 佐々木 佳奈子
分科会E	「学校コンサルテーションの実践を支援する行動観察支援ツールの開発に関する研究～教育相談コーディネーターに求められる専門性の向上に向けて～」 令和7年度 帝京大学教職大学院生 県立鶴見支援学校 教諭 戸井田 直子	「モヤっていませんか？『インクルーシブ教育』踏み出す一歩！―足柄小学校の具体的な取組―」 県立小田原支援学校 教諭 渡邊 隼人
分科会F	「『共に生きる』社会の実現を目指して幼稚園における個を大切にしたいクラスづくりと小・中学校とのつながり」 小田原市立酒匂幼稚園 園長 古木 美貴 県教育委員会教育局 支援部子ども教育支援課 指導主事 酒井 亮子	「校内支援センターを通じた学校や地域との連携」 認定 NPO 法人鎌倉あそび基地 理事長 水澤 麻美

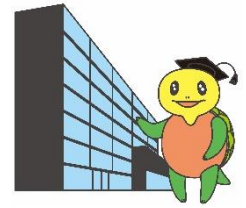
★：神奈川県教育研究所連盟関連発表

目 次

開会式 9:30～9:40	2
記念講演 9:45～11:25	2
研究発表・実践報告の概要.....	3
【研究発表・実践報告①】13:15～14:35.....	3
【研究発表・実践報告②】15:10～16:30.....	6
展示・体験ブース紹介文	8
かながわティーチャーズデイマップ.....	10
参加に当たって	12
【オンライン参加方法】.....	12
【昼食・休憩場所について】.....	12
【問合せ先】.....	12

開会式 9:30～9:40

○所長挨拶



総合教育センター
キャラクター「グッタ」

記念講演 9:45～11:25

「子ども主体の授業とは？」

～明日から一歩目を踏み出すヒント～

独立行政法人教職員支援機構

審議役 島谷 千春 氏

独立行政法人教職員支援機構（NITS）審議役。2005年に文部科学省入省後、初等中等教育行政、教員政策、大学研究振興、国際関係などに携わる。2017年から横浜市教育委員会へ出向し、学校現場に根差した教育行政や教職員の働き方改革、教育振興基本計画策定等を推進。その後、文部科学省、内閣府を経て、2022年10月から2025年3月まで石川県加賀市教育長を務め、「子ども主体の学び」の実現を推進した。2025年4月より現職。現在は、全国の教職員研修の「研修観の転換」に向けて、全国教育委員会・学校と協働。管理職育成、学校内におけるマネジメントやチームづくりなどの研修に取り組んでいる。書籍では「BE THE PLAYER ～自治体丸ごと学びを変える、加賀市の挑戦～」を執筆され、わずか2年半で市内のすべての小・中学校の授業改善を推進し、教育改革を実現した軌跡をまとめられました。子どもが学びの主体となる学校づくりをどのように進めたのかを、ビジョンづくり、教員研修、授業改革、学びの空間づくり、広報・PRまで、多面的な視点から具体的に紹介されています。

【研究発表・実践報告①】13:15～14:35

【A-1】

【道徳】児童・生徒が深く考え振り返ることができる授業実践の研究

神奈川県教育研究所連盟関連発表

座間市立栗原小学校 教諭 深澤 隆史
座間市立座間小学校 教諭 与那覇 雅康
座間市立座間中学校 教諭 梅原 健人
座間市立西中学校 教諭 石井 大地

児童・生徒が深く考え、振り返るためには、主発問や問い返しの工夫が大切だと考え、そこに重点をおき、研究を進めています。市の道徳研修会で、十文字学園女子大学浅見哲也教授から「人間理解・他者理解・価値理解」という考え方を学び、3つの理解を踏まえた発問づくりに取り組んでいます。また、問い返しの工夫では、児童・生徒が考えを深めることができるように、児童・生徒の心をゆさぶる発問を心がけています。市内の先生方に道徳教育に関するアンケート調査を行ったため、先生方が日々の実践の中で困っていることなど、課題に対する改善案も提案できればと思い、研究を進めています。

【B-1】

① 教育課題調査研究 第13回「学習意識調査」報告
—藤沢市立中学校3年生・60年間の比較研究—

神奈川県教育研究所連盟関連発表

藤沢市立八松小学校 教諭 泉 翔太
藤沢市立俣野小学校 教諭 上村 歩
藤沢市立新林小学校 総括教諭 坂倉 美和
藤沢市立湘洋中学校 教諭 村井 裕也
藤沢市立片瀬中学校 教諭 二宮 真之

藤沢市の児童・生徒の今日的教育課題について調査研究を行うことを目的としています。研究にあたっては「全国学力・学習状況調査」や「全国体力・運動能力、運動習慣調査」等の結果も踏まえ、広い意味で今後の教育のあり方について模索検討し、その成果を学校教育計画立案並びに生涯学習推進のための基礎的資料として提示していきます。

② 教科・領域等研究 社会科
子どもが質のよい問いを追究する社会科の授業づくり

③

神奈川県教育研究所連盟関連発表

藤沢市立鵠洋小学校 教諭 丸山 大輝
藤沢市立富士見台小学校 教諭 甘粕 太志
藤沢市立滝の沢小学校 教諭 服部 紗季
藤沢市立善行中学校 教諭 木村 健太郎
藤沢市立高倉中学校 教諭 田畑 颯太

「社会科の授業における「質のよい問い」とは、どういうものかについて話し合いを重ねてきました。そして、子どもが「質のよい問い」を追究する授業づくりをするために必要な①教材の工夫と②単元計画の工夫について研究を進めてきました。これらの成果と課題を研究報告書としてまとめましたので、その内容について紹介します。

【C-1】

- ① 生徒が自らの学習の状況を把握することで学習意欲の向上を目指す授業デザイン
ー 高等学校数学における振り返り活動を軸に構成した授業を通して ー

令和7年度 総合教育センター長期研究員
県立大船高等学校 教諭 中谷 公彦

これからの学校においては、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援することや、子どもが自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるよう促していくことが求められています。発表者が担当していた数学科の授業においては、「分からないところが分からない」といった、自らの学習の状況を把握することに困難を抱えている生徒が多くいます。そこで本研究では、振り返り活動を軸に構成した授業をデザインし、実践しました。その結果、生徒が自らの学習の状況を把握する「振り返り活動を軸に構成した授業」を通して、学習意欲の向上に一定の有効性が確認できました。

- ② 教職員の積極的な対話による相談しやすい関係づくりに向けて
ー1人1台端末を活用した絵文字による健康観察を通してー

令和7年度 総合教育センター長期研究員
横須賀市立追浜中学校 養護教諭 柏原 絵里子

保健室に来室する生徒の中には、頭痛や腹痛などの要因を伝えられない、様々な課題や困りごと、不安や悩みがあっても表現や相談ができない生徒がいます。養護教諭として、そのような生徒と丁寧に関わる中で、積極的に対話を重ねていくことの重要性を感じました。そこで、本研究では、1人1台端末を活用した絵文字による健康観察が、教職員と生徒の対話のきっかけや教職員同士の生徒理解に向けた対話の手掛かりとなり、その積み重ねは生徒が相談しやすい関係づくりにつながると考え、検証実践をしました。生徒の心身の変化を早期に発見するためのICTの活用や人によって解釈の異なる曖昧な絵文字を利用した毎日の健康観察は、教職員と生徒が対話をするきっかけとなりました。また、教職員同士においても生徒についての多面的な情報の共有が対話の機会を増やし、生徒の理解につながりました。このように、教職員と生徒、教職員同士の対話の積み重ねが生徒の安心や信頼につながり、相談しやすい関係づくりに向けて一定の成果がありました。

【D-1】

- 定時制高等学校におけるプロアクティブな生徒指導の充実を目指して
ーHR 経営に関する職員研修とグループアプローチの実践ー

令和7年度 横浜国立大学教職大学院生
県立相模向陽館高校 総括教諭 今井 健太郎

多様な生徒が在籍する単位制による昼間定時制の高等学校において、プロアクティブな生徒指導を充実させることを目的としました。ホームルーム経営に関する職員研修と2年次を対象にグループアプローチの実践を行い、プロアクティブな生徒指導を見据えたホームルーム経営の意識向上を目指して取り組みました。

【E-1】

学校コンサルテーションの実践を支援する行動観察支援ツールの開発に関する研究
～教育相談コーディネーターに求められる専門性の向上に向けて～

令和7年度 帝京大学教職大学院生
県立鶴見支援学校 教諭 戸井田 直子

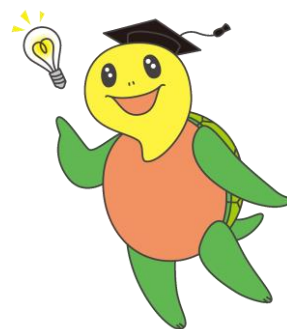
特別支援学校のセンター的機能において教育相談コーディネーターに求められる専門性を明らかにし、学校コンサルテーションの実践を支援するツールの開発について研究を行いました。教育相談コーディネーターと専門職らの協力のもと、経験の浅い教育相談コーディネーター等が活用できる行動観察支援ツールを開発しました。子どもの発達や特性を踏まえた行動観察をするためのヒントとなるツールの開発を目指しました。

【F-1】

「共に生きる」社会の実現を目指して
幼稚園における個を大切にしたクラスづくりと小・中学校とのつながり

小田原市立酒匂幼稚園 園長 古木 美貴
県教育委員会教育局 支援部子ども教育支援課 指導主事 酒井 亮子

幼児一人ひとりを生かしたクラスをつくるためには、どのような個の捉えや、環境の構成・援助が必要であるか実践を積み重ねてきました。幼児教育が大切にしている「遊びを通した学び」と、小・中学校での学びとの関連を説明しながら、研究の実践を発表します。



【研究発表・実践報告②】15:10～16:30



【A-2】

心理的安全性を高める学級経営による学校適応の実証的研究
～学級目標を手がかりとした「安心して挑戦できる風土」づくりの探究～

神奈川県教育研究所連盟関連発表

横須賀市立衣笠中学校 教諭 横手 謙

学級目標を基盤として、生徒が安心して過ごし、挑戦できる学級風土づくりを目指した実践研究です。「意味細分化・行動具体化」「意味づけと声かけ」「ふりかえりタイム」の3つの手だてを通して、学級目標の内在化と心理的安全性との関係を探りました。

【B-2】

- ① 教科・領域等研究 算数・数学科
学び方の価値観の変容をめざす算数・数学の授業
～直観的な考えをもとに検討・修正する体験を通して～

神奈川県教育研究所連盟関連発表

藤沢市立新林小学校 教諭 石井 裕貴
藤沢市立鵠南小学校 教諭 鈴木 育未
藤沢市立大清水小学校 教諭 工藤 琢人
藤沢市立善行中学校 教諭 小池 一樹

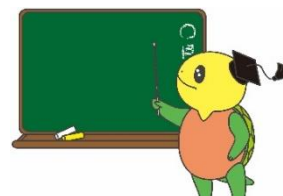
間違いを恐れて何も手がつかないといった子どもたちを巻き込み、みんなで考える授業づくりに取り組んできました。どの子も課題に向き合うことができるように、まずは、子どもたちの直観的な見通しや類推を大事にする手立てに着目しました。次に考える過程では、他者の考えに触れ、協働して粘り強く検討・修正する授業展開を考えました。子どもたちがこのような授業を体験する中で、間違いは新たな考えを生み出すための材料であることや自分や友だちの考えを比べて考えることが大切であることに気づき、学び方の価値観を変容させていくことを目指しました。

- ② 教科・領域等研究 理科
主体性を発揮できる授業改善
～自己肯定感を高める OPPA の活用～

神奈川県教育研究所連盟関連発表

藤沢市立御所見小学校 教諭 岩政 修司
藤沢市立善行小学校 教諭 永田 理佳
藤沢市立中里小学校 教諭 宮生 彩子
藤沢市立御所見中学校 教諭 成川 玲也

子どもたちが主体的に学習に取り組むようになるためには、自己肯定感の向上が必要であるという捉えから、自己肯定感を高めるには、適切な自己評価、他者評価が必要と考えました。OPP(ワンページポートフォリオ)を活用すること、自分の考えや出来事、気づいたことが記録され、自分を見つめることができます。自分を認められれば、他者も尊重できます。思考の言語化・メタ認知のプロセスが自己調整力を高め、殻を破り自由に発展していく学習活動につながります。子どもたちも教員も試行錯誤しながら、失敗しても工夫しながら取り組み続けられる授業を目指しました。「わからない」「書けない」が学習のスタートです。



【C-2】

「西高力」でつなぐ！「総合的な探究の時間」と「教科学習」
—「理数探究基礎」への挑戦—

県立藤沢西高等学校 総括教諭 近藤 誠

教育課程研究開発校(総合的な探究の時間)の指定を受け、令和4～8年度に取り組んだ研究実践報告です。「西高力(生徒に育みたい資質・能力)」で総合探究と教科の授業を接続する授業改善と令和8年度から導入している「理数探究基礎」の立ち上げまでを発表します。

【D-2】

特別支援学校における授業づくりを支援するための教師の柔軟な学習環境デザイン

令和6年度 横浜国立大学教職大学院生
県立中原支援学校 教諭 佐々木 佳奈子

本研究は、多様な働き方の教師集団において、さまざまな部門や学部に共通し、子どもたちや教師の実態や状況に応じて対応ができるように、特別支援学校の授業づくりを支援するための教師の柔軟な学習環境をデザインすることを目的として取組を行いました。校内研究における授業検討のあり方に着目して行われた実践について報告します。

【E-2】

モやっていませんか？「インクルーシブ教育」踏み出す一歩！
—足柄小学校での具体的な取組—

県立小田原支援学校 教諭 渡邊 隼人

足柄小学校での人的交流の実践報告

「インクルーシブの理念はもう知っているけど・・・」「どこから何をはじめたら・・・」といったスタートから、特別支援学校教員が地域の小学校へ行き、取り組んだ「みんなが過ごしやすい学校」を目指した具体的な実践報告。インクルーシブ・マインドを育むためのアプローチとして、子どもの困り感を可視化する「教室に支援グッズ設置」、小学生～大人まで、系統立てて作ったインクルーシブ授業等を紹介します。

【F-2】

校内支援センターを通じた学校や地域との連携

認定 NPO 法人鎌倉あそび基地 理事長 水澤 麻美

当団体が鎌倉市内小中学校における「校内フリースペース」の伴走支援に入って2年が経過し、取り組みの意義と様々な課題が浮き彫りになってきています。限られた人員で、増え続ける不登校にどのように対応していけばよいのか。いくつかの事例をもとに考察します。

展示・体験ブース紹介文【11:30～13:00、14:35～15:10（一部 11:30～16:30）】

【県民公開事業紹介コーナー】 2階 203 研修室

『中学生のための教職セミナー』

県内全ての中学生を対象に、教職に関する講義及び演習等を通して、教職に対する理解を深めていくことを目的として行っている研修講座の様子を紹介します。

『かながわパーパーティーチャー研修講座』

現在、教職に就いておらず、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校のいずれかの免許状を所有、または失効している方を対象とした研修講座の様子を紹介します。今年度は総合教育センターだけではなく、横須賀、平塚、厚木、三浦、小田原の各地域会場でも本講座を実施します。

【「時間をかけて価値を育てる」～長期研修講座と高等学校教育課程研究会の成果物の展示～】

2階 203 研修室

昭和40年から始まり、これまでに1,000人以上が修了している「長期研修講座」と、高等学校教育の改善と充実を図る「教育課程研究会」について紹介します。長期研究員は「長期研修講座」において、1年間総合教育センターで勤務しながら、教員としての資質の向上と学校教育の充実のために教育研究や基幹研修、実務研修にあたります。「教育課程研究会」は、令和3年度より総合教育センターが中心となり取り組んでいます。各教科等で学校の教員と指導主事が協働してよりよい授業の実践事例を作成し、各学校に広める取組を行っています。それぞれの研究を踏まえて作成された成果物を展示しております。

【児童・生徒に寄り添う支援の紹介（支援グッズ展示・相談サポート）】 2階 204 研修室

学校は支援のプラットフォームです！教育相談課では、先生方と一緒に児童・生徒の学びを支えています。当ブースでは発達や学習、不登校に関する書籍、教材、支援グッズを展示しています。また、児童・生徒への支援の悩みに対して、先生方と一緒に考える相談の仕組みもご紹介します。お気軽にお立ち寄りください。

【共生社会実感パッケージ・アセスメント】 2階 208 研修室

『共生社会実感パッケージ～インクルーシブ教育の実践を支援します～の紹介』

当センターでは、各学校のインクルーシブ教育の実践を支援しています。当ブースでは貸出可能な教材教具や支援機器等の展示を行っています。様々な教材等の体験を通して、自他の違いを理解して共に社会をつくる意識を育む授業づくりを考えてみませんか。

『アセスメント事業の紹介』

県内特別支援学校高等部・県立高等学校インクルーシブ教育実践推進校等の生徒を対象に行っているアセスメント事業について、展示により紹介します。

【見て・体験して・広がる体育の授業づくり】 3階 301 研修室

見て、体験して、体育の授業づくりにつなげる展示・体験ブースです。競技用車イスやボッチャ、モルックなどのパラスポーツ、ユニバーサルスポーツの体験をはじめ、研究成果である体育、保健の授業実践の紹介、授業づくりに関する相談、スポーツセンターの事業に関する情報提供を行っています。明日からの授業づくりのヒントを見つけに、ぜひお立ち寄りください。

【「学びの場を広げよう～来て、見て、やってます！研修のあれこれ～」】 **3階 304 研修室**

学び続けるみなさんへ！総合教育センターでは、年間150を超える研修講座が行われているって知っていますか？その対象は、学校の先生だけでなく、ミライを担う中学生や高校生、教員を夢見る熱き人まで多岐にわたります。そんな研修講座の一部を紹介！また、学び続けるみなさんをサポートする資料も紹介します。お気軽にお立ち寄りください。

【教育DX体験コーナー】 **3階 306 情報研修室A** 【11:30～16:30】

様々なことに「DX化」が求められている昨今、インターネット上にたくさんの情報はありますが、実際に気軽に体験できる機会はあまりありません。「ちょっと試してみたい！話を聞いてみたい！」そんな方、大歓迎です。授業や校務でICTを活用したい方、今回の体験をきっかけに「DX化」にチャレンジしたい方、どなたでもお立ち寄りください。

【神奈川の戦後の教育のあゆみ】 **5階多目的室** 【11:30～16:30】

現在、神奈川県では様々な教育施策が行われていますが、それらの施策はいつから始まったのでしょうか。今回は、現在小学校で採用されている「教科担任制」にスポットを当て、『神奈川県教育史 1945～1972 資料編』等に掲載されている資料などをもとに、始まりや経緯等を展示しています。

【修学旅行の歴史】 **5階多目的室** 【11:30～16:30】

修学旅行は明治時代に始まったとされています。神奈川県内の学校の修学旅行は、どこに行き、どんな様子だったのでしょうか。当センターに収蔵されている様々な学校資料をもとに、修学旅行の歴史を紐解いてみましょう。

【現在使用されている教科書を見てみよう！】 **5階学校支援室** 【11:30～16:30】

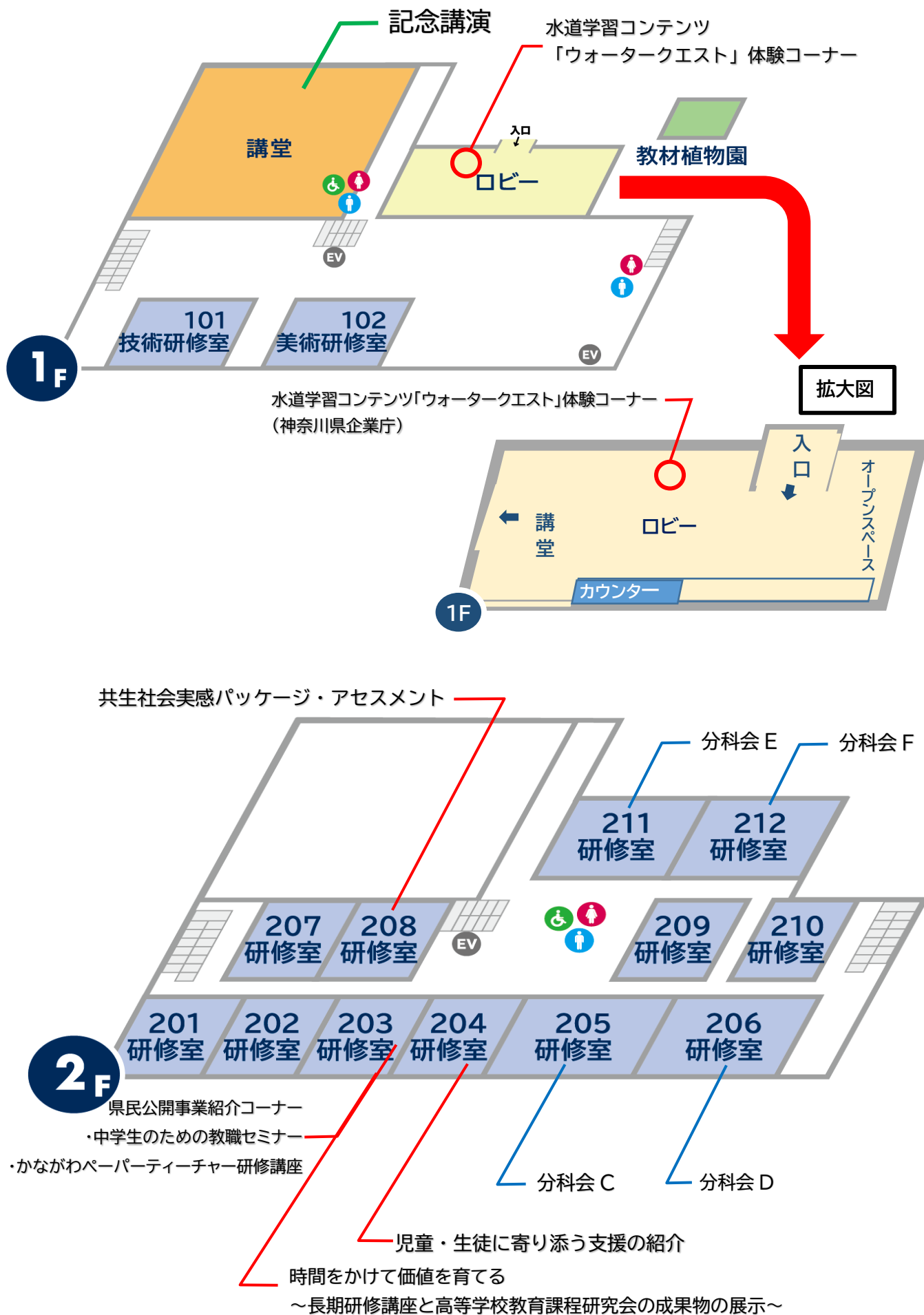
今回は、特別支援学校や特別支援学級で使用されている教科書を展示しています。皆さんがよく知っている教科書とは異なり、使用する児童・生徒の状況に合わせ、絵本などが教科書として採用されています（「一般図書」と呼ばれています）。この機会にぜひお立ち寄りいただき、どんな一般図書が使用されているのかを手にとって見てください。

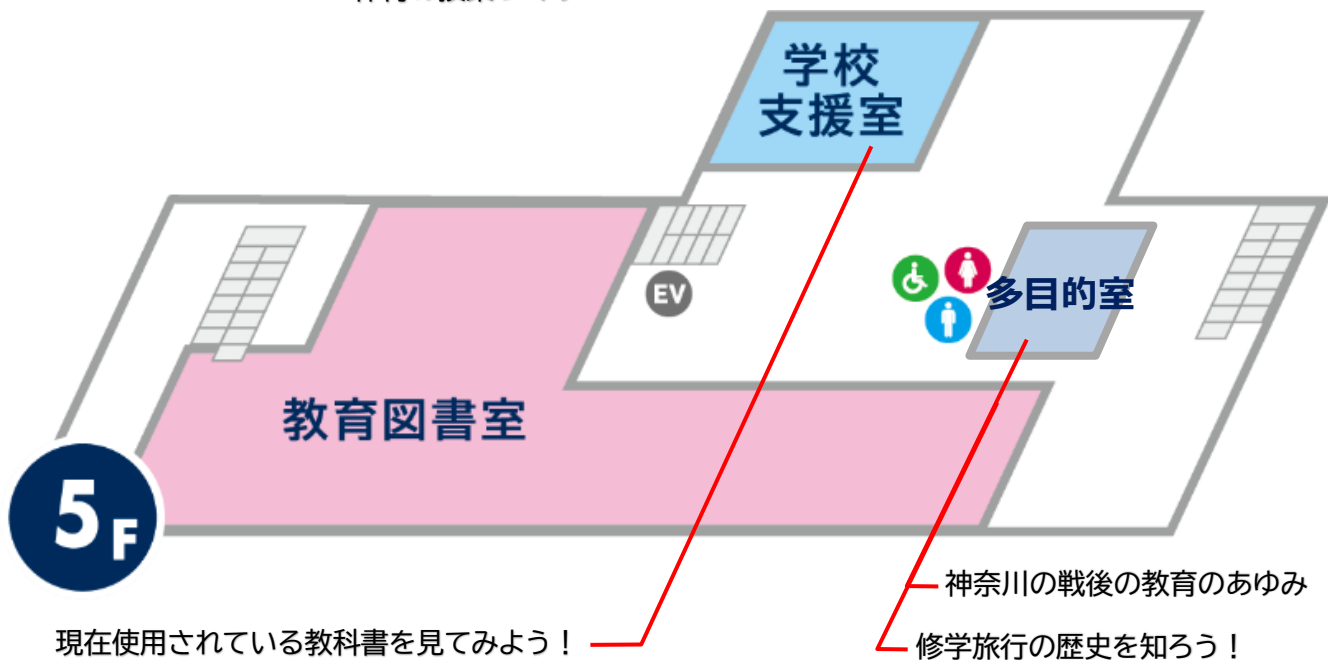
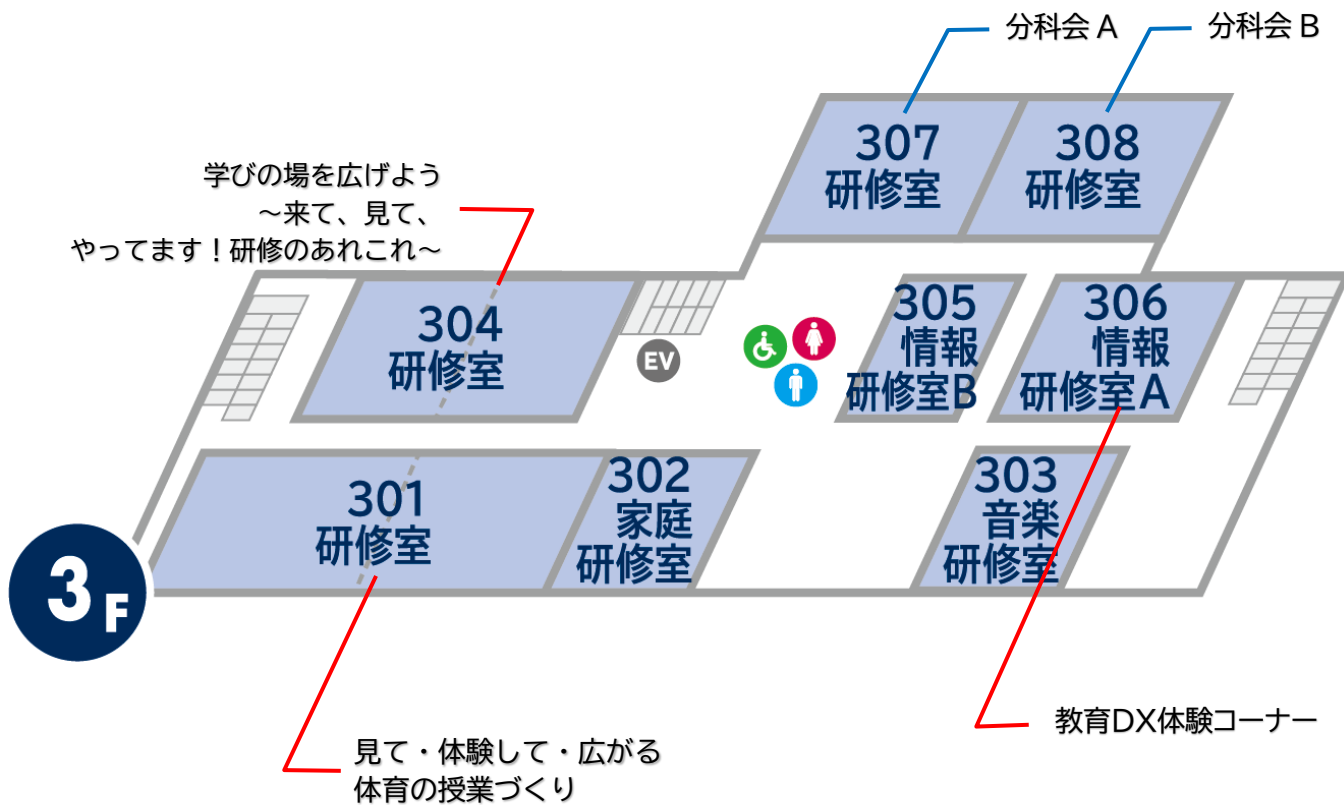
【水道学習コンテンツ「ウォータークエスト」体験コーナー（神奈川県企業庁）】 **1階ロビー**

【11:30～16:30】

県営水道では、小学生向けの新たな水道学習コンテンツ「ウォータークエスト ～水道探検 じゃ口の向こうを知ろう～」を公開しています。水道事業について学習する小学4年生を中心に、水道への理解をより深めることができるコンテンツです。水源から家庭に水が届く過程を楽しく学ぶことができ、ドローンによる空撮映像や、キャラクターやクイズを交えたストーリーなど、小学生の好奇心を刺激する工夫を随所に盛り込んでいます。学習効果の向上を図るため、浄水場やダム解説付きの3D空間や、授業に役立つブックレット・ワークシート等も制作しています。水道学習の授業にお役立ていただける内容となっておりますので、ぜひこの機会にご体験ください。

かながわティーチャーズデイマップ





参加に当たって

【オンライン参加方法】

Zoomにて開催いたします。

Zoom ログイン後のお問合せ等は、チャット機能をご利用ください。

参加に係る URL 等は、お申し込み時に登録いただいたメールアドレス宛に送付しております。

- ・名前表示 … 「氏名(所属名)」としてください。例：善行太郎(藤沢市)、神奈川花子(藤沢市立かもめ小)
※教職関係者ではない方におかれましては所属の表示は不要です。
- ・マイク … 音声ミュートでご参加ください。
- ・ビデオ … ビデオをオフでご参加ください。

【昼食・休憩場所について】

○昼食場所

- ・各分科会会場（205 研修室・206 研修室・211 研修室・212 研修室・307 研修室・308 研修室）
- ・1 階ロビー
- ・6 階ラウンジ

※総合教育センター内には1 階、4 階、6 階に飲料の自動販売機のみ設置しております。施設周辺に飲食店やコンビニエンスストアがあります。

※ごみの持ち帰りにご協力をお願いします。

※歩きスマホ、路上喫煙はご遠慮ください。

○休憩場所

- ・1 階ロビー
- ・6 階ラウンジ

※各分科会会場について、14：35～15：00 の間は、「研究発表・実践報告②」の準備を行う関係から、一度施設いたします。この間は発表者及び運営スタッフを除き、分科会会場よりご退出いただきます。展示・体験ブース等をぜひご覧ください。



【問合せ先】

神奈川県立総合教育センター企画調整課(0466-81-1759〔直通〕)



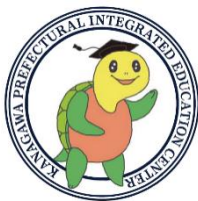
ご参加いただきありがとうございます

◎かながわティーチャーズデイ全体を通じたご意見、ご感想をお聞かせください。



https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail?tempSeq=127386

回答期限 8月31日（月）



神奈川県立総合教育センター

〒251-0871 藤沢市善行 7-1-1

Tel(0466)81-0188〔代表〕

Fax(0466)83-4660